

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立皇子山中学校

【結果について】

《概要》

全国や滋賀県の状況から見て、どの教科についても基礎・基本の習得の観点で、よく取り組んでいる結果となりました。

国語Aの資料について「読むこと」、国語Bについて、題材の活用に関する問題で、「書くこと」などにやや課題が見られました。

《強み・弱み》

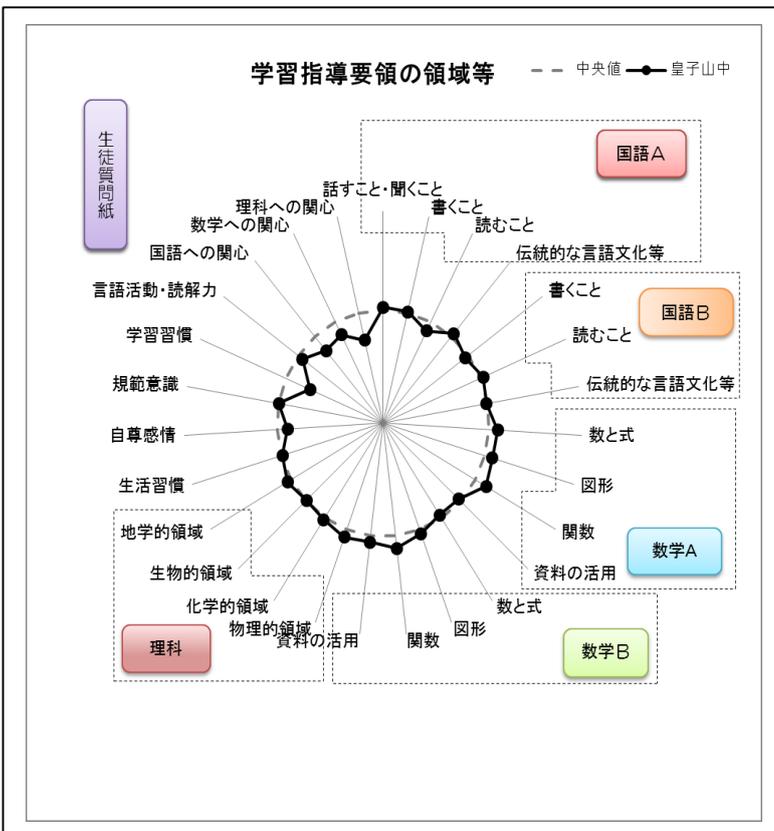
本校では、「学び合い学習」を校内研究のテーマに掲げ、全校体制で推進をはじめてから3年目を迎えています。生徒質問紙からも学習形態の定着が進んでいる様子が伺えます。また、終学習の取組や補充教室で基礎基本の定着に取り組んでいます。さらに学習支援ボランティアの協力により、効果的な学習活動の提供を行っています。

本校生徒の特徴として、8割以上の生徒が学校は楽しいという結果が出ています。引き続きあらゆる場面で生徒を大切にしたい取組を進めていきます。

※本校の傾向を見るためのものであり、学校ごとに基準が異なるため、他校と比較できるものではありません。

◆強み・弱みレーダーチャート◆

【指導の充実に向けて】



◇引き続き、朝読書に取り組み、読む力の育成と活字離れを克服します。また、協同的な学習「学び合い学習」をさらに推進し、コミュニケーション能力育成の観点から、自分の考えをしっかりと持ち、他人と話し合う力を養うため、全教科で言語活動の充実に努めます。

◇終学習や補充教室、学習支援ボランティアの充実を図るとともに、家庭学習の方法を見直し、予習・復習の徹底、学習環境の充実に力を注ぎます。

◇魅力ある教科学習となるよう、教材研究の充実をすすめ、本校生徒の課題解決に必要な思考力・判断力・表現力の育成を図ります。

※グラフは全国平均正答率と本校平均正答率のポイント差に基づいて作成しました。

破線はポイント差の中央値を表しています。

破線より外側の場合は（成果が現れている項目）、内側の場合は弱み（改善を検討する項目）と捉えることができます。

【教科の分析】

(国語)

- A 問題については、全体的に基礎基本が定着していると言えます。特に、言語事項における漢字の読み書き、文法事項を問う問題はよくできていました。
- B 問題については、複数の資料を活用し、条件に従って作文する問題など、比較的難易度の高い問題でも的確に正答を導いています。古典に関する問題もよくできていました。ただし、自分の考えを書く作文では、書けていないところがあり、自分の意見を持ち、表現する機会の確保に努めます。

(数学)

- 数学 A の問題については、基礎基本からしっかりと学習できていると考えます。数学 B では、記述式の問題でやや課題が残ります。「学び合い学習」をさらに進め、積極的に説明し合える活動を日常の授業に取り入れていきます。
- 生徒の質問紙から、学習の興味・関心は全体的に低く、学習習慣の定着が弱いと考えます。個別対応を求めている生徒が多くいるととらえ、個別指導の充実に努めます。

(理科)

- 物理・化学分野はよくできていて、地学や生物分野の問題には課題が残ります。また、『活用』を問う問題や記述式の問題はよくできていることから、日々の「学び合い学習」におけるグループ学習や言語活動などの成果が結びついていると考えます。
- 観察・観察の技能の問題にやや課題が残ります。積極的な実験を取り入れた授業を心がけ、十分な観察・実験の時間を確保に努めます。

(児童生徒質問紙から見える児童生徒の状況)

- 家庭学習では、学習時間の確保とその内容の充実を含めた家庭学習の習慣化が必要です。特に予習・復習の習慣づけに取り組んでいきます。
- 昨年度と比較し、授業の中で生徒同士での話し合う活動が約30%増えており、協同的な学習「学び合い学習」の定着と成果が現れていると考えます。

【今後の取組について】

- 特に授業の充実の手立てとして、家庭学習における、予習・復習の時間の確保、教科への関心・意欲・態度の向上に努めます。
- 継続して全学年「学び合い学習」の推進を図り、授業改善や教育環境整備に力を注ぎ、本校の教育課題に沿った学校運営を展開していきます。